

お口の健康

第3回 歯のケガ

今回は、歯のケガ（外傷）についてのお話です。歯の外傷とは、交通事故やケガ、転んだ、ぶつかった、などが原因で歯が欠けたり、グラグラしたり、歯が抜けてしまうことをいいます。

実は、「抜けてしまった歯」は元のように戻せる場合が多いんです。ご存じでしたか？ただし、元に戻すにはいくつか注意事項があります。

① 元に戻すまでの時間はできる限り短く早急に。

・歯の根の表面には歯根膜と呼ばれる薄い膜がついているのですが、歯を元に戻すにはこの歯根膜の細胞が生きていることが、かなり重要です。というの、この歯根膜は乾燥に弱く、口の外では30分くらいしか生存できないといわれています。そして口の中の唾液中では1時間くらい、牛乳内で保存すれば6〜12時間、市販されている歯の保存液であれば24時間生存が可能といわれています。ただし、水道水では歯根膜が死滅するので、避けなければいけません。

② 抜けてしまった歯は乾燥させない。

・乾燥させない方法としては口の中に入れるか牛乳の中に入れる。歯の保存液に入れる。水道水はダメです。



③ 抜けた歯を持つときは、歯の根っこをさわらない。歯の頭を持つようにする。

・歯の根っこに泥や砂がついても、汚れを落とすために無理にこすらないように気をつける。水道水で洗わない。歯根膜をできるだけ傷つけないようにする。

それから、歯が欠けた場合も元のように戻せることがありますので、歯のかけらをなくさないようにしてください。

また、ぶつけた後の症状が軽かったとしても、しばらくしてから症状が出る場合があります。そのまま放置しておく、後から治療しても予後が悪い場合があります、とくに乳歯の場合は、あとから生えてくる永久歯に悪影響を与えることがありますので、歯医者さんで検査してもらいようにしましょう。

歯の外傷にあった場合、歯や歯のかけらを持って、早急に（できれば2時間以内）、かかりつけの歯医者さんへ受診してください。

湯沢市・雄勝郡
歯科医師会
ホームページ：
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>